『見守りの輪』 認知症の方の行動について



中田匡俊・中田大貴・水波陽子平成29年11月26日 仰木の里市民センターにて

認知症とは

正常であった脳の知的な働きが、 後天的な(生まれてからしばらくたってから起きた)いろいろな病気な どによって、持続的に低下し、日常 生活に支障をきたす状態。

認知症の原因になる主な病気

	原因になる病気
脳の変性によるもの	アルツハイマー病、レビー小体型認知症、 ばかとうそくとうがないもうしょう 前頭側頭型認知症 [ピック病]、ハンチントン病
脳血管障害によるもの	脳梗塞、脳出血、ビンスワンガー病
内分泌・代謝性のもの	こうじょうせん き のうてい か しょう 甲 状 腺機能低下症、ビタミンB12欠乏症、 かんはいのうしょう とうせきのうしょう はいせいのうしょう サイアミン欠乏症、肝性脳症、透析脳症、肺性脳症、低酸素症
中毒性のもの	薬物・金属・有機化合物などの中毒、アルコール中毒
感染性のもの	クロイツフェルト・ヤコブ病、脳炎、髄膜炎、脳梅毒、エイズ
腫瘍によるもの	のうしゃよう 脳腫瘍、転移性腫瘍
外傷性のもの	頭部外傷、慢性硬膜下血腫、ボクサー脳症
その他	せいじょうあつすいとうしょう た はつせいこう か しょう 正常圧水頭症、多発性硬化症、ベーチェット病

	生理的なもの忘れ	認知症
原因	脳の生理的な変化	脳の病気
もの忘れ	体験の一部忘れる	体験の全部忘れる
症状の進行	あまり進行しない	進行する
判断力	低下しない	低下する
自覚	忘れっぽいことを 自覚する	忘れたことの 自覚がない
日常生活	支障はない	支障をきたす

中核症状とBPSD

抑うつ 気持ちが落ち込んで やる気がない

妄想

物を盗まれたという

幻覚

いない人の声が聞こえる 実際にないものが見える

記憶障害

実行機能障害

段取りが立てられない 計画できない

睡眠覚醒リズム 障害

昼と夜が逆転する

失行

服の着方がわからない 道具がうまく使えない 失認

物がなにかわからない

介護抵抗

不安•焦燥

落ち着かない

イライラしやすい

入浴や着替えを嫌がる

失語

物の名前がでてこない

食行動異常

とする

なんでも食べよう

暴言•暴力•攻擊性

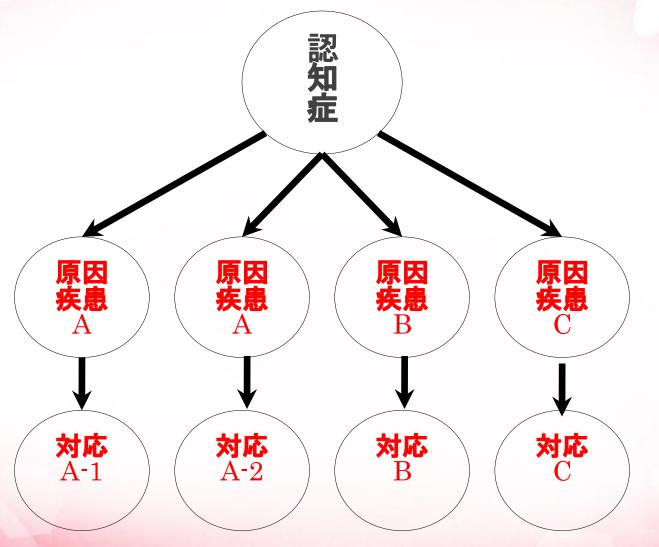
大きな声をあげる 手をあげようとする 徘徊

無目的に歩き回る

外に出ようとする

BPSD

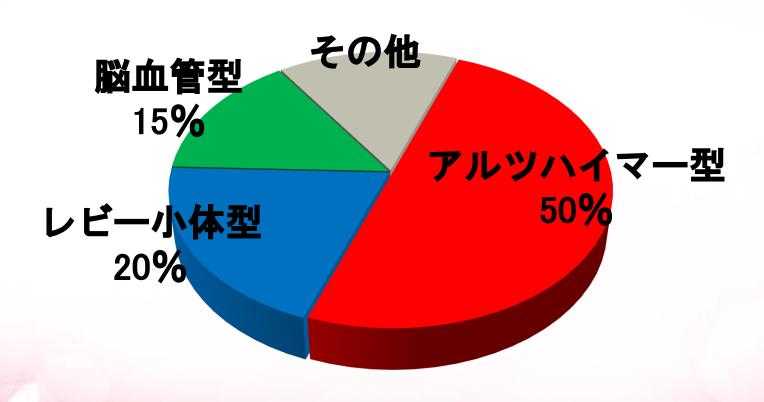
対応はひとりひとり異なる!



三大認知症

アルツハイマー型認知症 レビー小体型認知症 脳血管性認知症

認知症の原因



アルツハイマー型認知症

認知症の過半数。脳全体の委縮が原因。

《症状》物盗られ妄想。取り繕い。 初期は、本人自覚が少ない。 怒り等の感情記憶は残りやすい。 《歩行》初期、体は元気な方が多い。 《行動》若い頃の記憶で行動する事も。

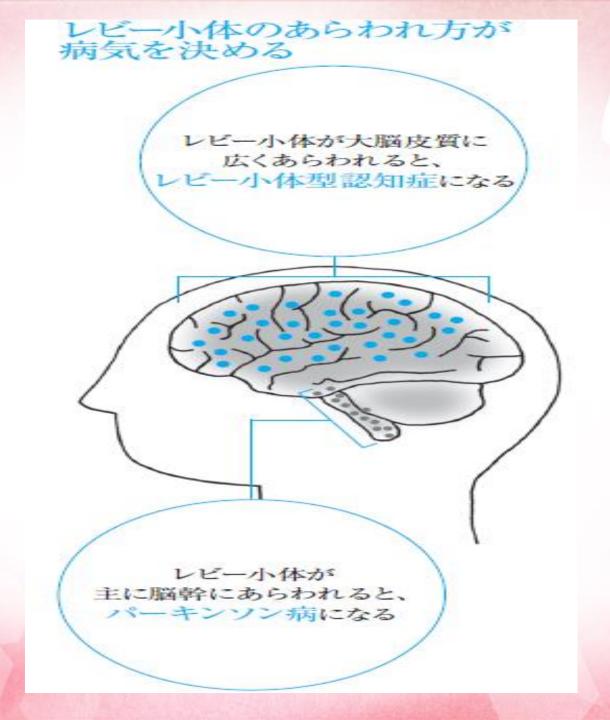
レビー小体型認知症

異常なたんぱく質(レビー小体)が大脳皮質に付着する。症状の変動が大きい。

《症状》幻覚・幻視、うつ病様症状

《歩行》前傾姿勢・突進歩行

《行動》幻覚・幻視に左右される事あり 記憶は保たれやすい。 プライドも保たれやすい。



パーキンソン病とレビー小体型認知症

パーキンソン病 運動障害が主体 ↓ しばしば 認知症が加わる ↓ 認知症を伴う

レビー小体型認知症 認知障害が主体 ↓ しばしば パーキンソン症状 が加わる

パーキンソン病 = レビー小体型認知症

幻視の例

動物に 関するもの	ネズミが壁を這いまわっている
	ヘビが天井に張りついている
	ご飯の上に虫がのっている
人に関するもの	知らない人が座敷に座っている
	おばあさんがこちらを見て立っている
	子どもたちがベッドの上で遊んでいる
	兵隊がゾロゾロやって来る
	□□さん[知人、家族、他界した人など]が遊びに来ている
	誰かがベッドで寝ている
	窓から男の人が入ってくる
	女の幽霊が現れる
環境に 関するもの	大きな川が流れている
	床が濡れている、水たまりができている
	光線が飛んでくる
	きれいな花が咲いている
	物が吸い込まれていく

脳血管性認知症

脳梗塞・脳出血・脳腫瘍や若い頃の事故(脳挫傷)などが原因。若い方にも多い。

《症状》まだら認知症≠高次脳機能障害。 連動機能障害。

《歩行》身体麻痺残存は歩行障害。 半側空間無視。視野欠損。

《行動》人格変容もあり、若いと特に注意を受け入れにくい方も多い。

徘徊と言われる行動には 意味がある

~歩き続ける理由~

【男女共通の理由】

家に帰る・友人親戚宅に行く

【男性に多い理由】

仕事に行く・畑に行く

煙草・酒を買いに行く

【女性に多い理由】

買い物に行く・畑に行く

子どもが帰ってこないから探しに行く



なぜ徘徊になるのか

- ◎目的があって出かけても、それを忘れる
- ◎いつもと違う事に混乱する なじみの道でも、景色が変われば違う道 (工事や他の家の改装など)
- ◎時間や季節感の感覚が薄れ、行動を起こす
- ◎考えと行動が結びつかない
- ◎2つ以上の事が重なるとうまく対処できなくなる
- ◎思い込んだら、周囲がみえなくなる
- ◎今の自分は昔の自分になる(40代の自分)

徘徊捜索の実情 ~仰木の里~

- ★60代。昔の同僚に誘われ昼食外食。真野からの帰路、迷う。朝に、自力で帰宅。
- ₩日中独居。仕事帰宅後の家族が不在を確認。自宅から5km程、ルスコの椅子に茫然と座る本人を発見。
- ₩5時間後、仰木の農道で警察が発見。
- ₩警察と捜索。雄琴駅で発見。

警察の力を借りてもすぐには見つかっていません。 でも、見つかって良かった・・・。

徘徊捜索の実情 ~その他エリア~

W毎日の散歩にでかけたが、夕方に なっても帰宅せず。数日捜索す るも、発見できず捜索打切り。 半年後、散歩コースから少し外 れた所で、地域住民が発見。

想像するだけでも、泣けてきます・・・。発見して下さった、地域の方も辛いですよね。

徘徊捜索の実情 ~その他エリア~

- ★早朝、パジャマ姿でウロウロ。通行人が 発見。
- ₩GPSで捜索しても、家族追いつけず。 山科で警察保護してもらう。
- ★アルコール依存症、朝から捜索、夕方畑で裸で寝ているのを発見。
- ★唐崎→衣川で発見。福井で発見。3km。 5km。家の裏に転倒していた。

徘徊捜索の実情 ∼傾向をまとめると~

- 桜日常の外出で、迷う可能性は常にある。
- ★行動予測範囲を探しても、予測外行動の行動の際には、見つからない。家周辺を家族が捜しているうちに、本人は遠くへ。
- ★昼間には紛れ込んで、発見されにくい。夕方~早朝に、とぼとぼ歩いている姿をみて「徘徊?」と住民通報発見が多い。

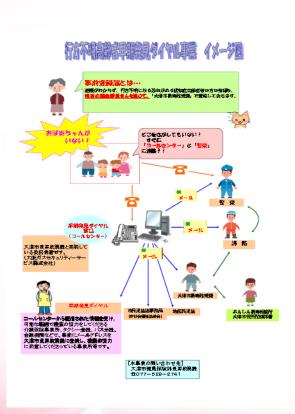
警察の力を借りてもすぐには見つかっていません。 でも、見つかって良かった・・・。

ビーコンを携帯してもらうために

- ₩普段使う物が 決まっている場合
 - 上衣・靴・ベルト・財布につける
 - キーホルダーで鞄・鍵・杖につける

- ₩普段使う物が 決まっていない場合
 - 数を限定し、複数つける
 - お守りとして、首にかける

大津市 行方不明高齢者早期発見ダイヤル事業



【課題】

- ◎早朝・深夜・日祝日は機能しにくい。結局、警察が頼り。
- ◎家族としては、警察通報への ためらいがある。
- ◎事業の人的なネットワークだけでは対応しきれない。

地域ネットワークつくり

《認知症への理解を深める》 まちづくり出前講座活用 認知症サポーター養成講座

《地域見守り体制つくり》

- ◎捜索マップ作り
- ◎高齢者登録(顔写真つき)
- ◎たすか一るネットワーク活用
- ◎電車・バス会社、商店・事業所連携

認知症になって笑顔で暮らせるまちつくり

認知症かも?おやっと思ったらまず相談できる (早期の対応)

元気なときもしんどいときも、地域とつながれる (孤立化防止)

気持ちを理解し、持つ力を信じてもらえる (本人中心のケア)

行きたい所に行き、会いたい人に会うことができる (徘徊行方不明の予防)

認知症の人やすべての人を応援してもらえる (認知症サポーターの役割)

私もなっちゃった!誰がなっても言えるやさしいまち (権利擁護)



暮らしやすいまち 仰木の里



ご静聴ありがとうございました